

## 水のある暮らし

私のクラスでは、「水の絵をかいてみて」と言われると、透明か水色をイメージしてかく人がほとんどでした。それは、きつと私たちの飲み水や使っている水が常にきれいで安全な水だからです。

しかし、このような安全な水を世界の人口の約三分の一、約二十二億人が使えません。日本には、安全で衛生的に水を利用できる環境が整っています。このような国も世界では数えられるほどしかないそうです。

私はこのことを知って、いつも当たり前のように蛇口から出てくる安全な水は本当に貴重だと、改めて思いました。私はそういった存在の水をずっと守っていきたい、と思います。

そこで、まずは今の水の現状を知るべきだと思い、調べてみることにしました。

山添村立山添中学校 二年

大矢 桃里

私たちは毎日、飲み水はもちろん、トイレで流す水、お風呂の水、手や顔を洗う水などさまざまな場面で使っています。また、農業や畜産業、工場でもたくさんのお水を使われています。このように水は私たちの生活に欠かせないという中で、水道の設備がない暮らしをしている人は二十二億人で、トイレがなく、道ばたや草むらなど屋外で用を足す人は六億七千三百万人います。貧しい国では、汚れた水を処理しないまま、飲み水として利用していることも少なくはなく、トイレのない生活をしている人もいます。このような暮らしをしています。不衛生なトイレや汚れた水は恐ろしい感染症の原因にも大きく影響しているということが分かりました。

次に女性や子どもにとっての水問題について

てです。水道の設備がない国では、水くみは命をつなぐくらい大切な仕事だそうです。でも、その水をくみに行くのは女性や子どもだから、収入を得る仕事をする時間がなくなったり、学校に通うことができなかつたりしています。

また、不衛生なトイレは、野外にあるなどプライバシーが守られていないことも少なくはなく、難民キャンプではトイレが住んでいく場所から遠かつたりと、女性や子どもが暴力を受ける危険な場所にもなりがちだそうです。

そして、これからますます水が不足するところが予想されています。水の量は、限られているから、決して無駄づかいはできません。例えば、一キログラムの牛肉を生産するのにおよそ二千リットルもの水が必要されています。私たちが生きていくためになくてはならない水ですが、地球温暖化や人口の増加、経済の発展などの影響で水が不足してしまうと思われます。二千五十年までには、四人に一人以上が、水不足の問題をかかえる国や地域で暮らすという予想もあります。

私は調べてみて、今の水の現状による世界の状態をくわしく知ることができました。おどろいたこともたくさんあります。特に、トイレのない生活をしている人が私の想像していた以上に多く、今の私の暮らしは本当にめぐまれていると思えました。また、水くみに行き、学校に通えない子どももいるということを知って、私は正直、考えられないなと思いました。

私たちは、これからも安全な水を使い続けるために、どんなことができるのでしょうか。私たちがふだん当たり前に使っている水について調べてみると、自分がどれだけ水を使っているのか調べてみると良いと思います。ほかにも、シャワーの時間を減らしたり、トイレの水を流すときに大小のレバーを使い分けるなど、毎日の生活でできることをするのも大切なことだと思います。

私は、この先もきれいで安全な水を利用できるようにしたいです。